

琵琶湖ツーリング（初めてのスポーツ自転車体験）

（報告）星野 真知子

●日程：2016年10月24日～25日 総距離：約153km 高低差：約58m（海拔87m～145m）

10月24日（月） 米原～長浜～賤ヶ岳～東山～マキノ～近江白浜・・・（旅館 白浜荘泊）

10月24日（火） 近江白浜～近江舞子～琵琶湖大橋～近江八幡～彦根～米原駅着

●メンバー：坂井、星野、古林

シリウスに初めてお邪魔した時、台湾一周ツーリングの報告があり、「この会ではこのような遊びもしています」と知り、入会後はスポーツ自転車でのカナダ横断と云う快挙報告もあって、趣味の広い方達だと拍手していました。丁度その折、メーリングで「“琵琶一”お誘い」があったので、早速に挙手をしました。奥三河で会創立11周年記念山行が企画されており、其の後に足を延ばして琵琶一は如何ですか・・・と。ママチャリしか漕いだことが無いのに、我ながらギョッとするほど無謀な参加と思いましたが折角のチャンスと楽しみに時を待ちました。

記念山行解散後に米原駅に降り立ち、駅中に設置された自転車屋さんで予約された自転車（初心者の方はクロスバイク）と対面後に所定のレクチャーを受けてすぐ目の前にある宿へと向かいました。

翌朝はホテルの朝食を終えて直ぐに米原駅の自転車屋さんからマイバイクを借り受け、颯爽と長浜から湖北回りに、湖を左手に見ながら整備された“さざなみ街道”を走り始めました。最初は初めての自転車操作が不安だったのが「走りながら触ってみて」と受けたアドバイス通りチャカチャカと触っている内に慣れていく。まさに習うより慣れろを実践する、と言う経過を辿って何とか乗りこなしができたようでした。

天気は秋の薄雲が棚引く気持ちの良い気温で、ススキの穂が風に靡いて湖面に波が打ち返す音が聞こえると、そこまでは良かったのですが、だんだんと北東アゲインスト風が強くなって、時間と共に負荷が重荷に感じるようになってきました。結局終日このアゲインスト風は治まることなく吹き続け、逆向きに走っていればなーと・・・。

2時間ほどが過ぎて、北端に当たる湖北の賤ヶ岳あたりからアップダウンが激しくなり、平均スピードも18キロはおろか10キロを切るようになって来ました。自転車の専用道路もなく、トラックが直ぐ横を猛スピードで擦る様に飛ばしてゆく。トンネルに入るともう駄目。風圧と騒音で今にも壁に押し倒されそうになってしまいました。

何とか難所を過ぎ越してようやく昼食。東山を通り抜けて湖西線に沿ったマキノの辺りを走る。



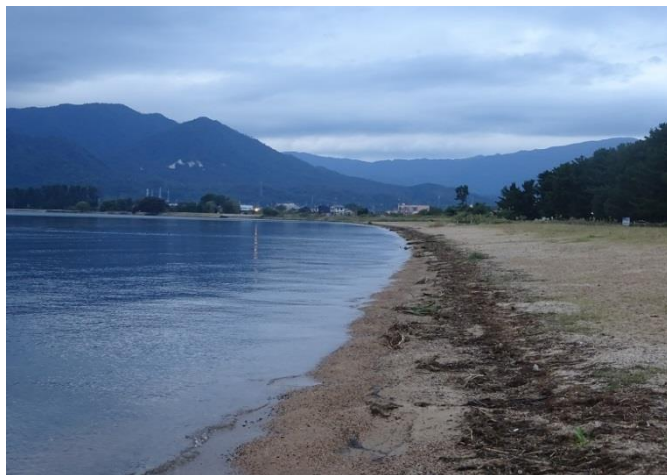
（いざ、“さざなみ街道”を“琵琶一”へ）



（薄雲棚引く湖面に鴛鴦の群れが・・・）

近江白浜に向かっては松原が綺麗な湖岸沿いの気持ちの良いところで、旧道と思われる車の走らないバイパスに入ると本当に心が洗われるようです。古い家並みと湖西の山並みと、そして湖岸の松林と、景観としては申し分のない素晴らしい環境と言えるところです。

夕刻の4時を回ったところで宿泊予定の近江白浜旅館に到着しました。新参者2名とアゲインストの風にしては予定通りの到着は上出来というところでしょう。初日の走行距離は75キロでした。



(湖西の山並みと古い家並み、綺麗な松原を走る)



(琵琶湖一周サイクリング・マップ)

2日目は残念なことに朝からの雨。レインウェアを着て覚悟をして走り始める。途中で「止めました」と言うわけには行かないので脇目もふらずに走り続ける。初日に自転車を降りる際にバランスを崩して仕様が無いので2日目は3センチ程サドルを下げると乗り降りが楽になりました。身長申告をする際に胴長、短足を云うべきだった、と深く反省。湖畔の道はスピードが出せそうなロードで、琵琶湖大橋も行く先は無人で雨の中でも下りになると程々のスピードが誠に心地よかった。

彦根城をチラリと見て左に切れると直ぐに米原駅まであと10キロ余りと知らされる。天気がよければ彦根城に寄りたかったところ。

2日目もほぼ終着点に近づいた。走行距離は併せて153キロ、大きなトラブルは無かったけれど、アゲインストの風と雨は初心者には大きなハンデでした。ヘマな事では「鍵を外したのに自転車が動きません」と見て貰ったらハンドルが一回転していたとか、「チェーンが外れました」と見て貰って、先輩に直して頂いたり、やっぱり一人では乗れないなあ、や、「パンクしませんように・・・」とひたすら祈り続けたツーリング、で、向かい風に負けるものか、雨に泥よけの無いスポーツ車で後姿は砂泥だらけ。それでも達成感、爽快感を味わって、ツーリングの先輩達に教わりながら“さざなみサイクリングロード”を心から楽しむ事が出来たようです。短気でそそっかしい私をリードして完走させて下さったお二人の先輩達に大感謝です。

◎記憶に残った事はツーリングステーションで近江牛のすき焼き弁当が大変美味だった。

◎松原越しに見る雄大な琵琶湖、海水浴場でなく水泳場の看板（当たり前ですが）。

◎雨中を米原駅にたどり着いた時、スニーカーの中が琵琶湖になっていた事。

◎ステーションで求めたジャガイモ程のニンニクは中々美味でお気に入りの食材です。

【以下 古林追記】

今回は初めてのツーリングということで、結果的には完走したものの、アゲインストの風と雨に筋肉痛という3重苦を背負ってのトライアルでした。私は残りの2時間くらいになってから尻の痛さに耐えられずにノロノロの運行。ゴールの駅を見失って行ったり来たりをして10キロあまりを行過ぎ、1時間半遅れで到着した次第。

コースは景色もよく、平坦で天気さえよければ気持ちよく楽しめる場所。そして風向きが良ければ更に言うこと無しと。願わくば只ひたすらに走るのではなく、もう少しゆっくりと景色や雰囲気味わうという走り方をしたいものと思う。帰った後で地図を辿って見ると立ち寄って見たいところも多々あるし、琵琶湖の場合には途中で船で島に渡るルートもあることが分かる。これからはもっと旅をエンジョイするようなサイクリングができないかという思いがしています。



（左が師範代）



（右が総師匠）

（完）

「団居のひろば」目次に戻るには、画面最上段左端の（戻るボタン）をクリックして下さい